

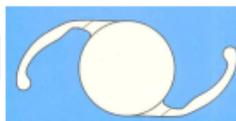
3焦点眼内レンズ ~3つの距離にピントが合うレンズ~

■眼内レンズとは・・・

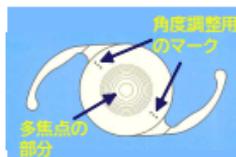
白内障手術で濁った水晶体を取り除くと、視界の濁りがとれてきれいに見えるようになります。しかし、見るものの位置によって自動的にピントを合わせる役割をしていた水晶体を取り除いてしまうので、手術後は、いつもピントは一定の距離に合った状態になります。そのため、いちばんよく見る距離に合わせて、眼の中にレンズを入れておきます。これが単焦点眼内レンズです。

■3焦点眼内レンズの特徴

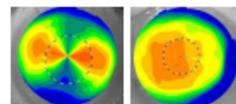
- ① 現在では、遠近両用メガネのように、眼内レンズでもピントを3ヶ所に合わせることができる**3焦点眼内レンズ**があります。ただし近くから遠くまで、どこにでもピントが合うわけではなく、手術でこのレンズを眼の中に入れても、より遠くをはっきり見たい時、より近くをはっきり見たい時にはメガネが必要になることがあります。
- ② 強い乱視がある場合は、**乱視矯正効果もある3焦点眼内レンズ**もあります。これを**トーリック多焦点眼内レンズ**といいます。乱視矯正にはレンズを正確な角度で固定する必要がありますので、手術時には通常の多焦点レンズより位置合わせに手間がかかります。また、**術後に再度手術をしてレンズの角度を修正することもあります**。トーリック多焦点眼内レンズを選ぶかどうかは、術前に角膜の形状を調べるトポグラフィという検査をした上で、医師が判断します。
- ③ また、眼内レンズでは単焦点のものでも夜間の光がにじんで見える特徴がありますが、多焦点眼内レンズではその程度がより強いようです。



↑単焦点眼内レンズ

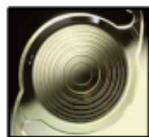


↑トーリック多焦点眼内レンズ



↑強い乱視の角膜

↑ほぼ乱視のない角膜



3焦点レンズ



単焦点レンズ

単焦点と比べ3焦点はレンズの内側に溝があるため、光が散乱してハローグレアの原因となります。

■手術の適応

3焦点眼内レンズは、すべての方に適しているわけではありません。白内障以外にも眼の病気がある方や、強度近視の方などは、このレンズの適応になりません。

■レンズの費用

テクニスオデッセイ・・・30万円(選定療養)

テクニスオデッセイトーリック(乱視矯正)・・・32万円(選定療養)

■無料アプリで白内障手術後の見え方を体験！(AR Eye)

『AR Eye』は、拡張現実(AR)の技術を用い、白内障の術前・術後の見え方を疑似体験できます。スマートフォンのカメラを通して現実の風景をもとにバーチャルな映像を再現。白内障の方だけでなく、ご家族が白内障の不自由さを体験し理解を深めることにも役に立ちます。

■白内障のぞもん(Web)

白内障にかかわる様々な『疑問』にお答えします。

<https://www.clearvisionforyou.com/ja-jp/cataracts/>



App Store



Google Play